

東北地方 3 か月予報

(1 0 月から 1 2 月までの天候見通し)

平成 2 4 年 9 月 2 5 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

1 1 月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

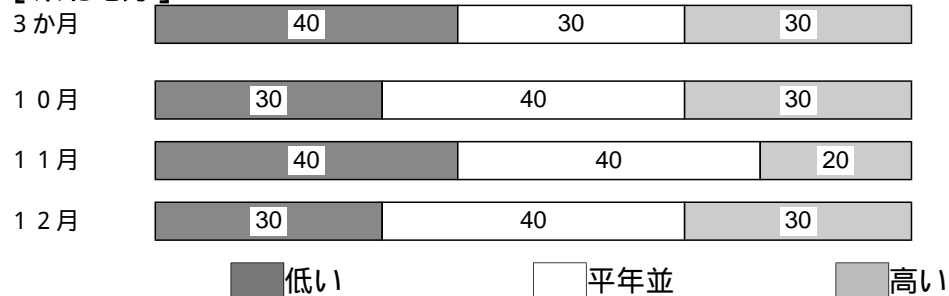
気温は、平年並または低い確率ともに 4 0 % です。

1 2 月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

< 気温 >

[東北地方]

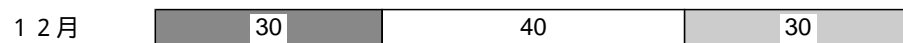
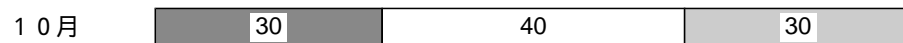





< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



 少ない  平年並  多い

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月28日

3 か月予報：10月25日（木） 14時

10月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用下さい。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
青森	13.1	6.8	1.5	7.1	103.9	137.7	150.8	392.4	149.7	87.6	52.8	290.0
深浦	13.5	7.7	2.5	7.9	155.4	146.9	132.9	435.2	131.2	64.9	31.6	227.1
むつ	12.4	6.5	1.3	6.7	109.8	117.4	103.7	330.9	159.0	102.9	71.2	333.0
八戸	13.0	6.9	1.8	7.3	87.2	62.0	49.1	198.4	161.3	133.3	124.5	419.1
秋田	14.0	7.9	2.9	8.3	157.2	185.8	160.1	503.0	145.4	82.7	45.1	273.1
盛岡	12.1	5.9	1.0	6.3	93.0	90.2	70.8	253.9	145.8	116.9	101.6	364.3
大船渡	14.0	8.3	3.6	8.6	140.7	94.1	50.4	285.1	140.7	134.9	132.0	407.5
宮古	13.3	7.8	3.1	8.1	125.7	80.1	64.8	270.6	155.2	147.3	147.4	449.9
仙台	15.2	9.4	4.5	9.7	122.0	65.1	36.6	223.7	148.6	139.6	138.6	426.7
石巻	14.5	8.5	3.5	8.9	119.2	66.6	33.6	219.3	155.7	147.5	149.3	452.5
山形	13.6	7.4	2.6	7.8	92.4	84.5	82.7	259.5	132.1	99.2	80.7	312.0
新庄	12.7	6.4	1.6	6.9	156.6	188.7	223.6	565.3	105.1	62.3	38.8	204.7
酒田	15.1	9.3	4.5	9.7	180.5	225.0	204.0	609.6	141.5	81.9	43.9	268.8
福島	15.1	9.2	4.4	9.5	119.1	65.5	41.8	226.3	135.8	128.3	125.2	389.4
若松	13.5	7.1	2.2	7.6	100.1	78.9	93.8	272.8	121.5	86.8	70.7	279.0
白河	13.5	7.8	3.0	8.1	135.6	69.8	36.0	241.3	138.1	144.8	152.0	434.9
小名浜	16.4	11.1	6.4	11.3	173.8	82.4	44.4	300.5	152.7	160.5	183.6	496.7

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
気温平年差()	東北地方	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.1 ～ +0.4	-0.2 ～ +0.4
	東北日本海側	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.4
	東北太平洋側	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5	-0.1 ～ +0.4	-0.1 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	81 ～ 107	85 ～ 105	74 ～ 97	89 ～ 102
	東北日本海側	84 ～ 109	93 ～ 105	91 ～ 105	93 ～ 108
	東北太平洋側	76 ～ 108	69 ～ 113	60 ～ 101	85 ～ 102
日照時間平年比(%)	東北地方	99 ～ 105	97 ～ 105	96 ～ 103	97 ～ 103
	東北日本海側	100 ～ 103	100 ～ 108	89 ～ 108	99 ～ 103
	東北太平洋側	101 ～ 105	94 ～ 101	97 ～ 105	97 ～ 102

（３）接近する台風の平年値

	１０月	１１月	１２月
東北地方	0.4	0.0	0.0

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料（10～12月）

平成24年9月25日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

10～12月	
10月	
11月	気温は、平年並または低い確率ともに40%で、冬の訪れは早くなる可能性がある。
12月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

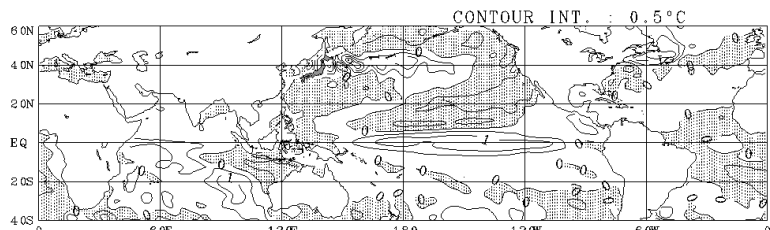
海面水温(上図)は、太平洋中部から東部の赤道域で平年より高く、この夏に発生したエルニーニョ現象が持続する。

熱帯の対流活動(図略)は、エルニーニョ現象時の特徴を示し、太平洋中部の赤道域で平年より活発となり、インド洋東部からインドネシア付近では不活発となる。

これを反映し、亜熱帯ジェット気流はインドシナ半島の北で南へ蛇行、日本の南で北へ蛇行して流れる見込み。この傾向は12月に顕著となり、日本の南では高気圧が平年より強く、日本の南岸では南からの暖かく湿った空気の影響を受けやすいが、東北地方への影響は小さい見込み。

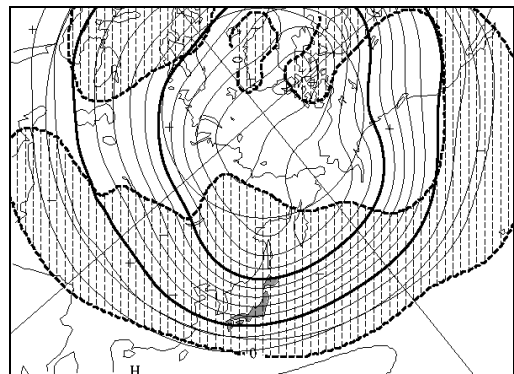
一方、通常のエルニーニョ現象時とは異なり、フィリピンの東では対流活動が活発な状態が11月頃まで続く。このため、日本の南で太平洋高気圧が平年より強く、その北東側の日本の東で気圧の谷が深い予想。

500hPa 高度(中図)は、極東域の中・高緯度帯は広く負偏差となり、その中心は千島の東に予想される。アリューシャン低気圧が発達し、東北地方では11月を中心に寒気の影響を受けやすいと見る。冬の訪れは早くなる可能性がある。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差。



3 か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図

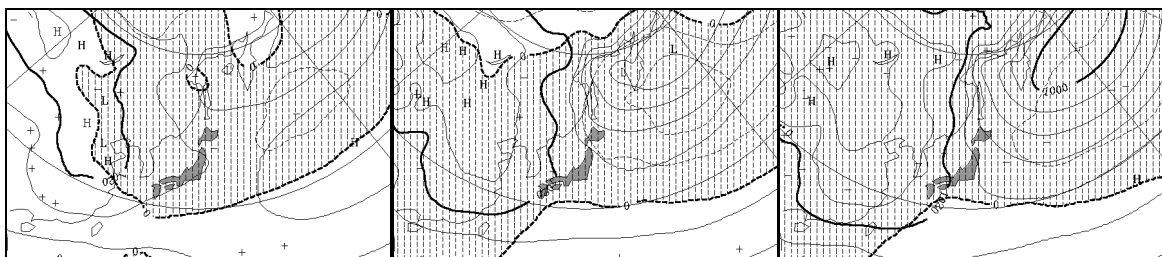
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

10月: 日本付近は負偏差だが、偏差は小さい。日本付近の等圧線の間隔は広く、高気圧と低気圧が交互に通る予想。天気は数日の周期で変わり、気温は平年並の見込み。

11月: アリューシャン近海から北日本にかけて負偏差が大きい。平年よりもアリューシャン低気圧が発達し、西高東低の冬型の気圧配置が強い見込み。気温は低い傾向となり、冬の訪れは早い可能性がある。天気は平年と同様に、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込み。

12月: アリューシャン近海から北日本にかけての負偏差は11月より小さくなり、アリューシャン低気圧の発達も平年に近くなる。平年と同様に、冬型の気圧配置で、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込み。



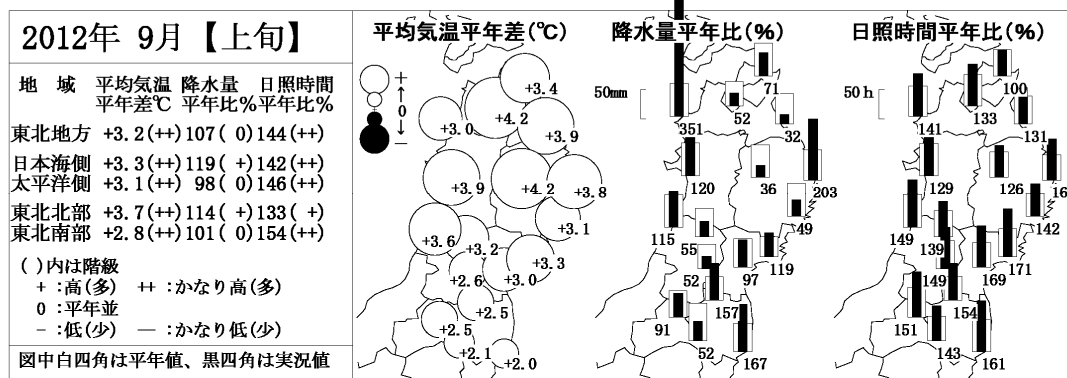
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から10月、11月、12月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

9月上旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かった。平年より暖かい空気におおわれたため気温はかなり高くなった。2日から6日にかけては上空の寒気や湿った気流の影響で大気の状態が不安定となり局地的に大雨となった。9日から10日にかけては前線が日本海に停滞した影響で青森県と秋田県で大雨のところがあった。

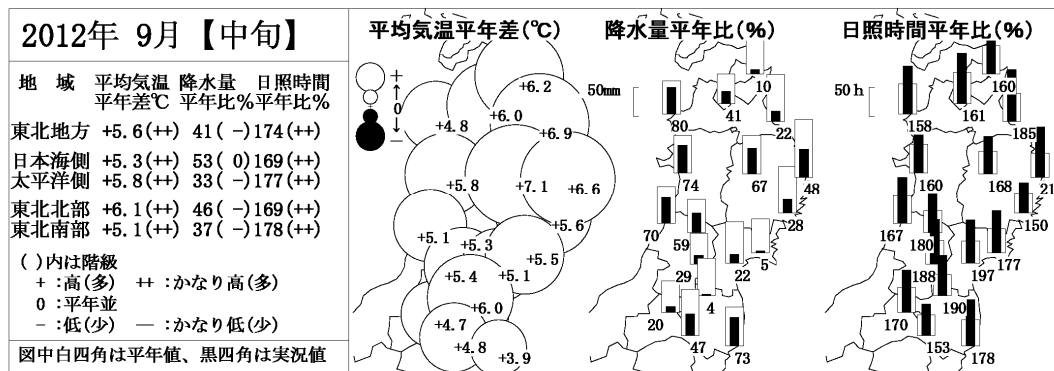
平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。



9月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

9月中旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が続いた。平年より暖かい空気におおわれたため気温はかなり高くなり、9月としては記録的な高温となった日があった。11日は前線の影響で東北日本海側で大雨のところがあった。12日は東北太平洋側で、15日は山形県で、大気の状態が不安定となり局地的に大雨となった。19日は前線の影響で各県で大雨となったところがあった。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間はかなり多い。

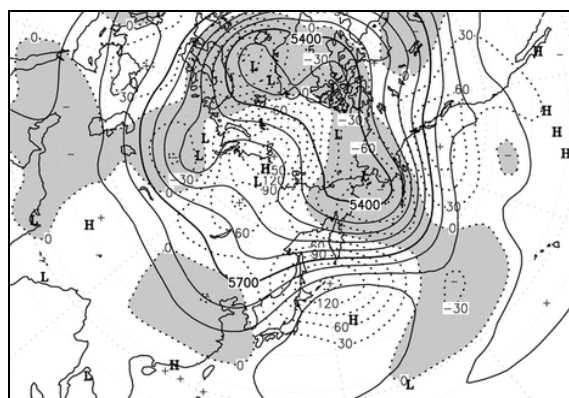


9月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

9月（20日まで）：500hPa 高度は、日本付近は千島を中心とする顕著な正偏差におおわれた。偏西風が大きく蛇行し、中国東北区から黄海にかけてとベーリング海から南の北太平洋では気圧の谷が深く、日本の東では気圧の尾根が高く太平洋高気圧の勢力が強かった。

東北地方は、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は顕著に高くなり、降水量は中旬を中心に少なかった。



9月1日～20日の平均500hPa 高度
 実線は高度（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 30m）。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
10月	16.2	12.6	15.5	13.8	15.8	10.2	16.5	7.8	14.3	9.8	15.6	7.6
11月	9.8	16.9	8.9	18.1	14.3	11.9	18.0	6.2	10.9	11.9	16.3	6.6
12月	5.6	20.7	4.2	21.4	13.7	11.2	18.6	4.7	8.9	14.1	16.5	6.9

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。